

学生プロジェクト支援活動 「甲南21クリエイティブ・プラン」

社会に貢献する、
3つの優れた企画を採択

「甲南21クリエイティブ・プラン」とは、21世紀の社会に貢献する学生の自主活動を大学が支援するプロジェクト。学生自身の手による学内外でのボランティア活動、コミュニティ事業、ベンチャー事業などのプランを広く公募し、優れたものに対して経済面などからバックアップします。

本年度応募があったのは9企画。そのうち、下記の3つのプランが採択され、教育懇談会が開催された6月28日(土)、それぞれを企画した学生たちのプレゼンテーションが行われました。ここでは採択を受けた3つのプランの内容をご紹介します。

Konan 21 Creative Plan

21世紀に向けて発進した3つの学生プロジェクト

甲南大学発、高等学校理科におけるバイオテクノロジー教材の開発

自然科学研究科生物学専攻
1年次 平田礼生さん ほか

高校生にもっと身近に理科を感じ、興味・関心を持ってもらうことを目的に、いままでにない新たなバイオテクノロジー教材の開発に着手する。

きっかけは一昨年。理工学部生物学科植物生理学研究室において植物細胞から細胞壁を取り除いて得られる球状の細胞、プロトプラストを簡単に単離し、短時間で細胞接着・融合が観察できる方法が開発され、全国的な話題を呼んだ。その結果、高等学校など多くの先生方から授業でやってみたくて声があがったが、一方では、実験・実習の経験に乏しいため、実際に行うには不安で躊躇してしまうという相談の声も多かった。

そこで今回、同研究室では、「プロトプラストの迅速単離法と接着・細胞融合の観察」を高校生物の時間内に行えるように必要なものをすべてキット化して、実験方法をわかりやすく編集したビデオとセットにして高等学校に配付することを計画している。

甲南大学における「持続可能な」循環型コミュニティの創造 ～環境ボランティア活動～

文学部 4年次 藤井孝明さん ほか

環境問題に取り組むプロジェクト。「甲南大学における循環型コミュニティの創造」というテーマでゴミ分別を推進した一昨年、「甲南大学における循環型コミュニティの創造とパートナーシップ」というテーマでパートナーシップを広げた昨年に引き続き、三年目となる今年は、活動の継続の大切さとさらなる発展を意識し、「持続可能な=sustainable」を新たにキーワードとした計画を進める。

実施プランは4つ。例えば、「自給自足生活の体験活動～循環型コミュニティの原型の体験～」と題して、広野野外施設でテントを張り、自給自足生活を体験したり、農作物作りを体験することで自然の恩恵や厳しさなどについて学ぶ。あるいは、「キャンパス内のボトムアップ型の環境活動」と題し、学内のゴミの4分別(燃えるゴミ/燃えないゴミ/缶・ビン/ペットボトル)をはじめとするリサイクルの促進や花や緑を植える緑化運動を行うなど。

学生ベンチャー向上サミット ～学生起業家間ネットワークの構築～

経営学部 3年次 東海林由子さん ほか

学生は会社を成功させる素質を備えており、時間も比較的的自由なのに、どうしてベンチャーで成功している事例が少ないのか。また、一昨年、学生ベンチャー企業「K.C.&co.」をはじめた起業家研究会では、ほかの学生ベンチャーの事業展開に興味を持っているが、交流を図る場が不足している。この2つを背景として、今年度、他大学でベンチャー研究に携わる学生グループと密に連携して情報交換を行う「学生ベンチャー向上サミット」の実現を目指す。

具体的な活動目的は、まず、調査分析により学生ベンチャーの今後の可能性を検討すること、そして調査分析結果を広く発信することでベンチャーに関心のある学生を集め、甲南大学を中心とした全国ネットで交流を深めていくこと。こうして学生同士の接点を設けることにより、お互いが問題解決の糸口を見つけやすくなり、ビジネスチャンスを発見できるようになるという効果が期待される。